

年 組 名前：

カスハラ対策 名札を変更 市町村

お客が働く人に暴力を振るったり無理な要求をしたりする迷惑行為「カスタマー・ハラスメント」(カスハラ)が問題となっていますが、山梨県内の市町村では被害を防ぐために職員の名札に示す内容を変える動きが

広がっています。名前から個人を特定して悪口を言ったり名誉を傷つけるようなことを言ったりすることを防ぐための対応です。山梨、大月、



名字のみの表記となった名札を着けて窓口の対応をする自治体職員 山梨県内

早川など6市町は名札の名前を名字だけにしたり、顔写真をなくしたりしました。甲府など5市町も名札の内容を変えることを検討しています。ある市の職員は「気づかないところで、知らない人に自分の名前を利用されるかと思うと不安。名札の変更は安心につながる」と話しています。安心して働ける職場環境を整えることは、人材確保にもつながりそうです。

(2024年7月11日付 山梨日日新聞 週刊こびっと10面)

問1 「カスタマー・ハラスメント」(カスハラ)とは、どのような迷惑行為ですか。

.....

問2 カスハラ対策として、山梨県内の6市町は、名札をどのように変更しましたか。

.....

問3 カスハラ対策によって安心して働ける職場環境を整えることは、何につながりそうですか。

.....